

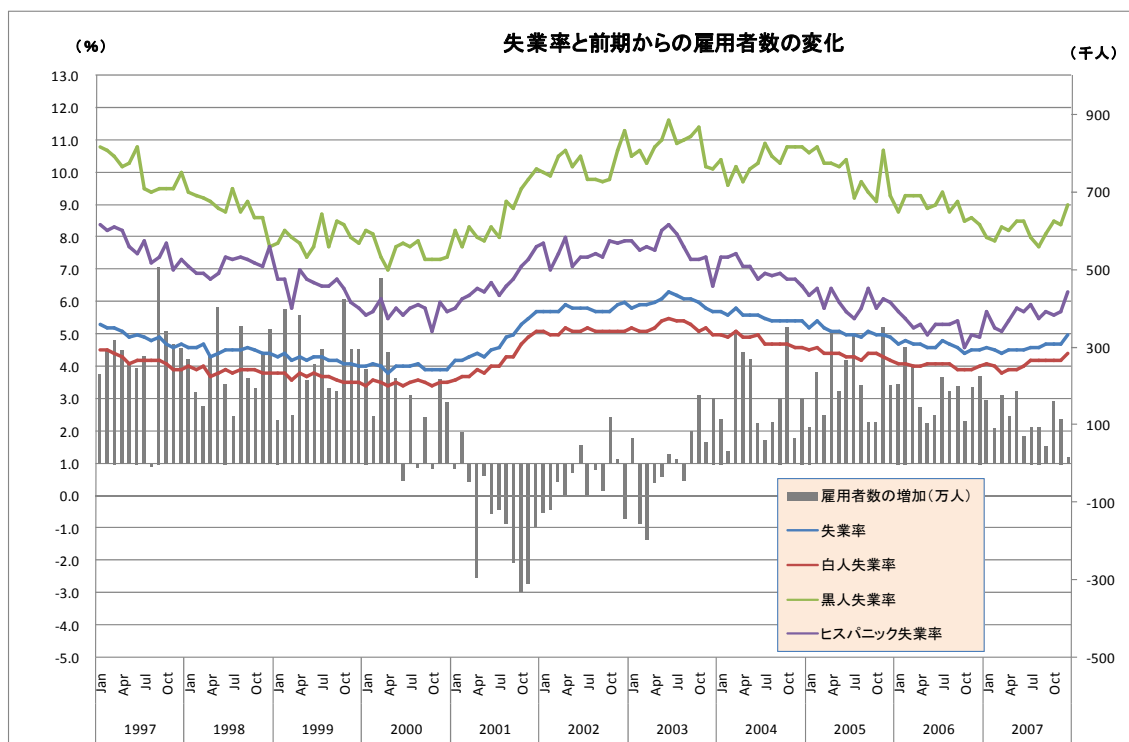
米国経済点描（2008. 1. 05）

～2007 年 12 月の失業率～

1 月 4 日に米国労働省労働統計局（BLS）が公表した世帯調査に基づく 2007 年 12 月の失業率（季節調整済み）は、前月より 0.3 ポイント上昇し、5.0%となった。また、同調査に基づく 12 月の就業者数の暫定値は、1 億 4621 万 1 千人で、前月より 43 万 4 千人減少した。

一方、事業所調査に基づく非農業部門の雇用者数（industry payroll employment）も、季節調整済みの暫定値でわずか 1 万 8 千人増（対前月比 0.01%増）と、11 月（11.5 万人増）の比較的高い増加から一転して雇用情勢に厳しさが増していることを裏付けた。専門技術サービス、ヘルスケアサービス、フードサービスを含むいくつかのサービス部門の雇用増を、建設、製造業の財部門の雇用減が相殺した形である。

このところ失業率は 2007 年の中で一番低かった 3 月の 4.4%から緩やかに上昇する傾向をみせてきたが、11 月までの 3 ケ月間は 4.7%の水準にふみとどまり、米国経済の底堅さの一端をみせていた。今回の一月間に 0.3 ポイントの上昇は、IT バブル崩壊後の 2001 年 10 月以来の大幅上昇である。1 月の雇用統計に着目したい。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル 4 F
TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp